

事業番号	05 10 03	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	動物愛護管理対策事業		部局	健康福祉部	課・室	食品・生活衛生課
			実施期間	H25～	E-mail	shokusei@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減					

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	<b>【現 状】</b> 長野県動物愛護管理推進計画に基づき事業を推進しており、保健所における犬猫の致死処分数が大幅に減少するなど順調に進行している。今後とも収容犬猫の返還や譲渡できる犬猫については譲渡を進めていく必要がある。一方、動物愛護センターにおける動物ふれあい事業は回数は変わらないにもかかわらず、1回ごとの参加者が少ない傾向が続いており、参加人数が目標値に達していない。 動物愛護センターで実施しているハローアニマルこどもサポートプログラムを全県に展開するため、「困難を抱える子どもへの動物介在活動による支援事業」を長野県新5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」の施策のひとつに位置づけ、各地域の環境基盤づくりを進めている。
	<b>【目指す姿】</b> 人と動物が共生する潤い豊かな社会の実現を目指し、動物愛護の普及啓発の推進と適正な飼養管理の推進を図る。動物介在活動を通じ、困難を抱える子どもを支援するとともに、各地域で独自に動物介在活動ができるよう基盤づくりを進める。
	<b>【実施内容】</b> (主な実施内容：動物介在活動(ハローアニマルこどもサポート含む)、しつけ方教室の実施 など )

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度
															前年度繰越		
															現計予算	167,989	107,107
															合計(A)	167,989	107,107
															うち一般財源	94,802	94,055
															決算額(B)	162,342	96,005
															職員数(人)	31	31

成果指標設定理由	①動物愛護管理推進計画に犬・猫の致死処分頭数を減らすための具体的な対策として、収容犬猫の返還率や譲渡できる犬猫についての譲渡率が指標となるため設定した。 ②動物ふれあい事業は動物愛護の普及啓発の要となるため指標として設定した。 ③ハローアニマルこどもサポート事業拡充(平成30年度～)により、参加した児童生徒が在家ではなく、外で活動できた指標となるため設定した。
達成状況の分析	①収容犬の返還・譲渡率は98.9%、猫の返還・譲渡率は70.9%となり、犬猫あわせての返還・譲渡率は79.4%と前年度を9.3%上回ったが、目標値を下回った。 ②動物ふれあい事業の参加者人数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度に比べて5,385人減少した。 ③ハローアニマルこどもサポートの参加者は、前年度を4人上回る49人で、延べ346人が参加した。
主な取組	① <b>動物愛護管理施策の推進</b> 環境大臣が定めた基本指針に基づき、本県の動物愛護管理に係る施策を総合的かつ計画的に推進するため「長野県動物愛護管理推進計画」を策定し施策を推進している。 <基本理念> 人と動物が共生する潤い豊かな社会の実現 <基本目標> ・動物愛護の普及啓発の推進：教育・広報活動、ボランティア育成、動物愛護フェスティバル開催、災害対策強化等 ・適正な飼養管理の推進：犬猫の引取り数・致死処分頭数減少、所有者明示実施率向上、危害・迷惑防止等  ② <b>困難を抱える子どもへの動物介在活動による支援事業</b> 動物愛護センター(ハローアニマル)を拠点として行っている、動物介在活動を通じて不登校やひきこもりなどの困難を抱える子どもを支援する事業を、自殺対策事業のひとつとして位置づけ、県内各地で独自に動物介在活動を行うことができる基盤づくりを目的として実施。 ・ハローアニマルこどもサポート ・おでかけハローアニマルこどもサポート：発達心理カウンセリングセミナー、ふれあい活動、個別相談 ・セラピーアニマルサポーター養成講習会

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	動物の愛護及び管理に関する法律に基づき長野県動物愛護管理推進計画を定め各施策を推進しており、現時点までに計画による目標は概ね達成している。 令和2年の動物の愛護及び管理に関する法律の改正により、自治体の体制強化や規制強化等が盛り込まれた。また近年は災害の多発や感染症の発生により社会を取り巻く環境が変化し、それに伴い、災害対策、多頭飼育問題、動物取扱業者への対応等、新たな課題も出てきている。これらに対応していくことが求められる。	国から改正法及び改正基本指針が示されたことから、改めて県内の現状を把握して課題を整理し、推進計画について必要な見直しを行う。

事業番号 05 10 03 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	動物愛護管理対策事業	部局	健康福祉部	課・室	食品・生活衛生課
-----	------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	動物愛護管理対策事業		7,986 千円	8,563 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	動物愛護管理対策	直接	狂犬病予防のための徘徊犬の保護抑留及び返還（犬 保護頭数362頭、返還頭数297頭）。狂犬病予防及び動物愛護管理技術研修会の実施（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため未実施）。動物愛護推進員の委嘱（令和2年 192名委嘱（任期2年））。	
2	動物愛護フェスティバル	直接	動物愛護フェスティバルの開催（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため未実施）	
3	保健所動物飼養管理委託	委託	土日、祝祭日における保健所内の犬・猫保護管理施設の飼養管理（県内4保健所：佐久、諏訪、飯田、長野） 委託先：テスコ(株)	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
2	犬等管理所運営事業		8,926 千円	8,437 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	犬等管理所運営・犬等の収集運搬	委託	保健所から犬等管理所までの犬猫の収集運搬（2コース合計31回）。犬等管理所の運営管理（2か所計80日） 委託先：朝日サテター(株)（管理所運営）、日本通運(株)（収集運搬）	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
3	動物愛護センター事業		145,430 千円	79,005 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	動物愛護センター運営	直接	動物愛護の普及啓発。動物介在活動の実施。しつけ方教室の実施（19回）。地域猫の活動支援（地域猫手術106頭）。	
2	動物飼養・施設管理委託	委託	動物の飼養管理、施設管理業務・施設保守点検業務 委託先：テスコ(株)	
3	困難を抱える子どもへの動物介在活動	直接	県内4地域において、動物愛護センターの動物介在活動の紹介（計48回）、人材育成のための研修会の実施（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施）	
4	困難を抱える子どもへの動物介在活動（子どもサポートセミナー委託）	委託	子どもサポートセミナー（発達心理カウンセリングセミナー、個別相談）の実施（セミナー参加者1,369名） 委託先：特定非営利活動法人長野県子どもサポートセミナー	